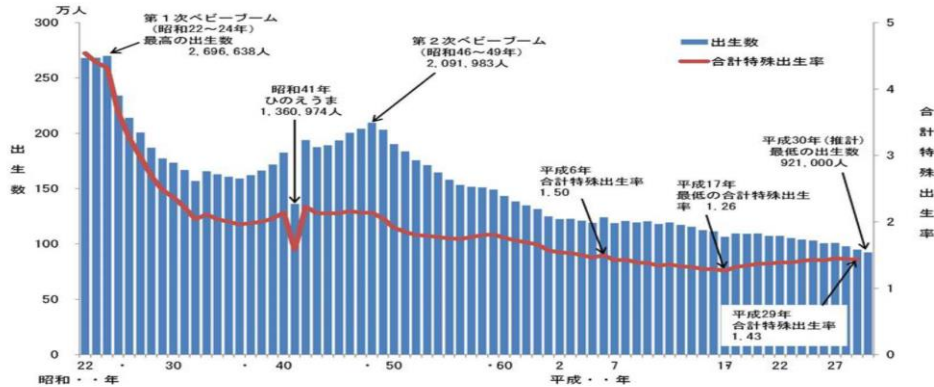


図表① 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

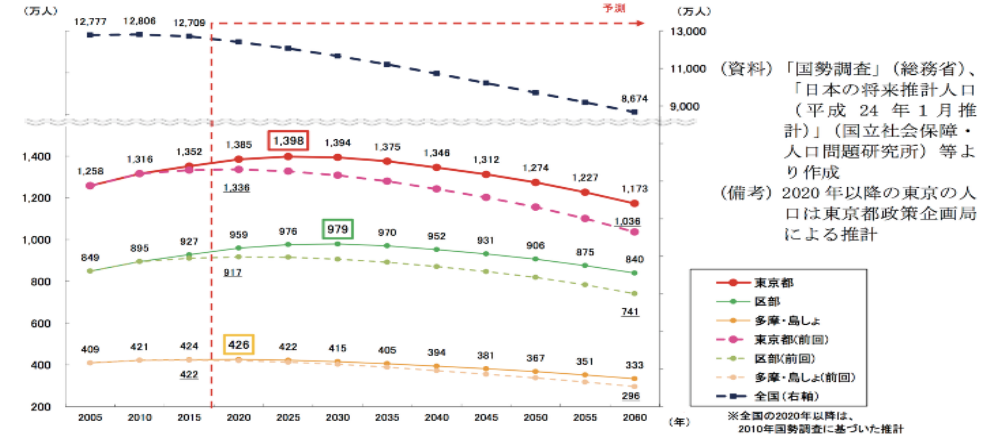
- 出生率は、第2次ベビーブーム以降、年々減少。
- 出生数も72年間で半減。合計特殊出生率は、横ばいが続く。



出典:厚生労働省「平成29(2017)年人口動態統計月報年計(確定数)」「平成30(2018)年人口動態統計の年間推計」

図表② 全国と東京都の人口の推移

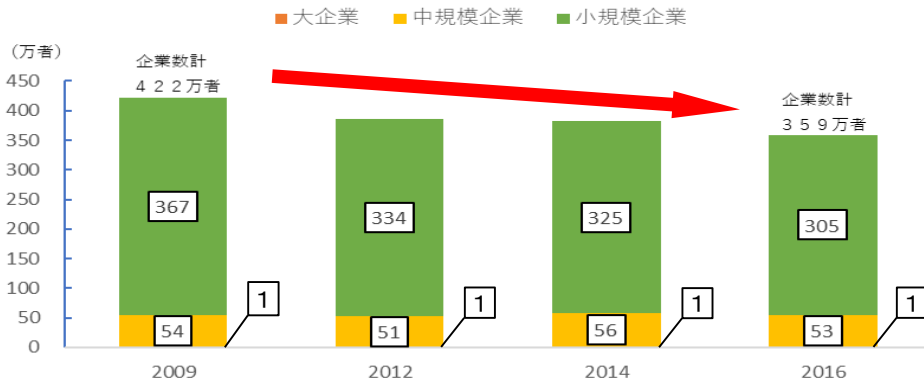
- 日本全体の人口は、2010年をピークに減少。
- 東京の人口は2025年をピークに減少する見込み。「多摩・島しょ」では、一足早く2020年ごろから、人口減少が始まる見込み。



出典:東京都

図表③ 企業規模別企業数の推移

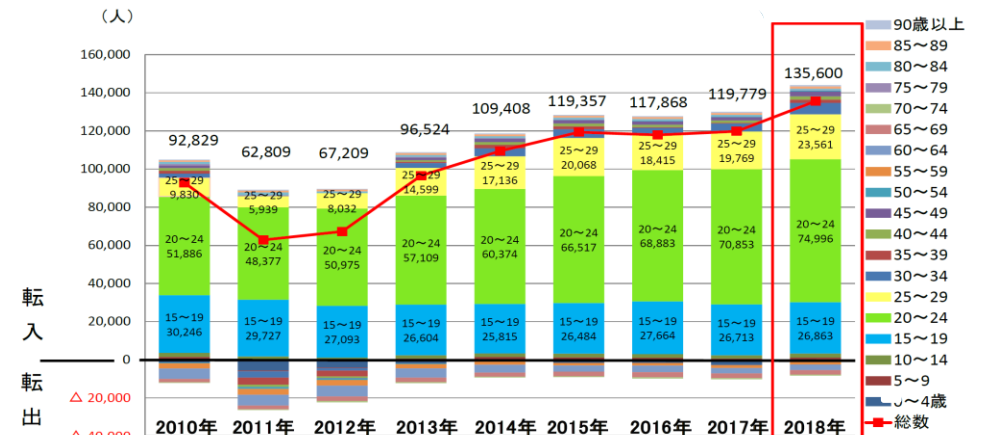
- 企業数は年々減少。特に小規模事業者の衰退は著しい。
- 過去8年間で約62万者が廃業。



出典:中小企業白書

図表④ 東京圏の年齢階層別転入超過数

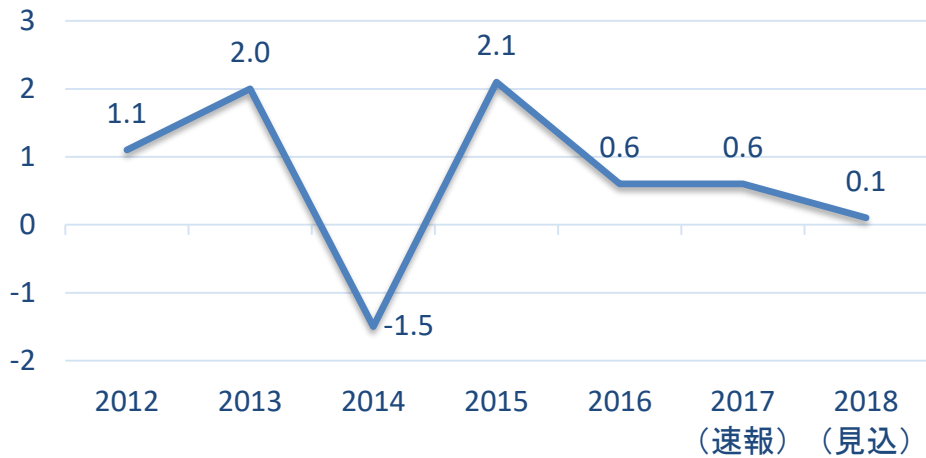
- 東京圏への転入超過は、2011年から8年連続。
- 特に、20～29歳の若者の割合が年々増加。



出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告」(2010年～2018年/日本人移動者)

図表⑤ 東京都の実質経済成長率の推移

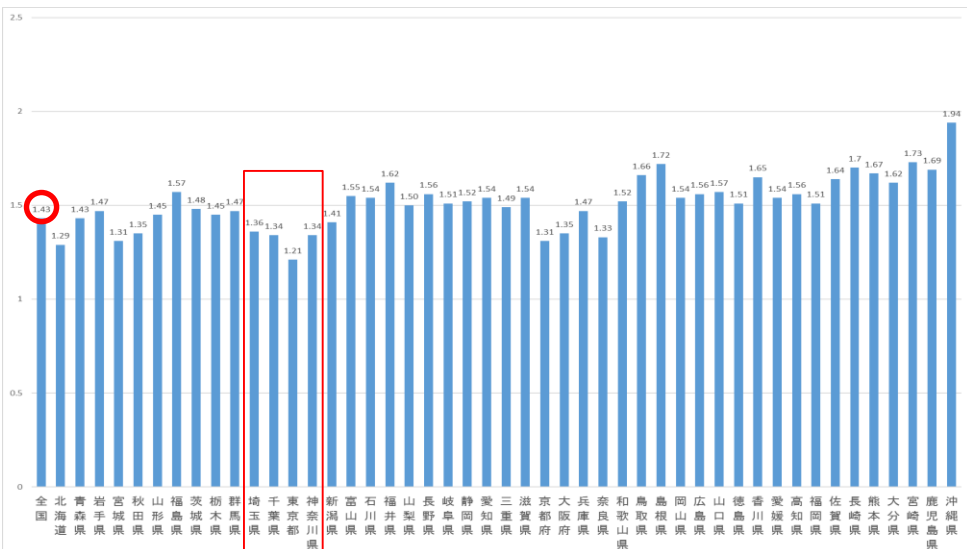
■ 東京の実質経済成長率は鈍化傾向にある。



出典：都民経済計算

図表⑧ 出生率の地域差

■ 東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)は、出生率が全国平均(1.43)と比べて、低い。



出典：厚生労働省「平成29年(2017)人口動態統計(確定数)」

図表⑥⑦ 開業率・廃業率 (2015年度)

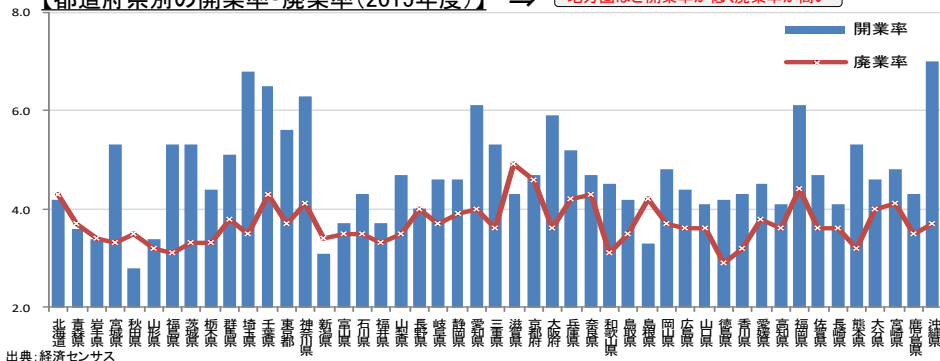
■ 開業率は海外に比べ低い(4.6%)。都道府県別に見ると大都市圏で高く、地方圏では低い傾向。

【開業率・廃業率の国際比較(直近年)】 ⇒ わが国の開業率は、諸外国と比べて極めて低い

	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス
開業率(調査年)	4.6 (2012-14)	9.3 (2011)	14.3 (2015)	7.3 (2014)	12.4 (2015)
廃業率(調査年)	6.1 (2012-14)	10.0 (2011)	9.4 (2015)	7.6 (2014)	5.4 (2015)

出典：経済センサス、中小企業庁「2017年版 中小企業白書」

【都道府県別の開業率・廃業率(2015年度)】 ⇒ 地方圏ほど開業率が低く廃業率が高い

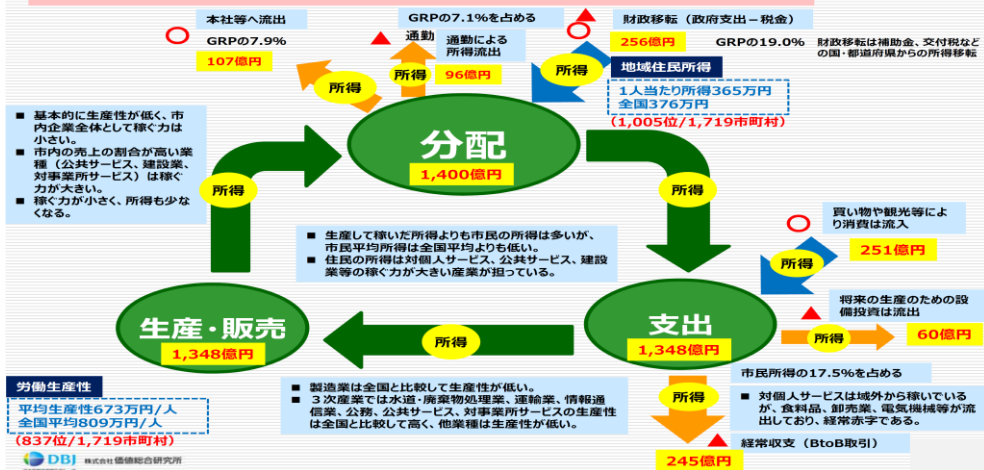


出典：経済センサス

図表⑨ 地域経済循環構造 (イメージ)

■ 地方創生の推進には、RESASを活用するなど、地域内の経済循環の様子や、強み弱み、課題を把握する必要がある。

観光客が多く支出面の所得は一時的に潤うが、すぐに流出してしまう



出典：地域経済社会システムとこと・働き方検討会(第2回)配布資料